

## 第 32 回 北海道古民家再生協会会員の会例会 議事録

記録日：2013年4月15日

記録者：江崎 幹夫

団体名	一般社団法人北海道古民家再生協会会員の会 例会
開催日時	2013年4月13日（土） 18:00～19:30
開催場所	札幌エルプラザ 研修室4
出席者	会員 江崎、石川、齋藤、横山 オブザーバー 阿部、伊藤、林、古澤、皆川（※敬称略）
議事	<p>1) 挨拶（北海道古民家再生協会 理事長 江崎 幹夫）</p> <p>今年度初めての例会に参加して頂いたことに対する御礼の言葉を述べた。古民家再生・再活用の市場が大きくなってきているのは、私たちの地道な活動の成果ではないか、また、今後もより市場を作っていく努力をしていく旨の話がなされた。</p> <p>2) 講演「不動産鑑定士から見た古民家について」（不動産鑑定士 古澤 基徳氏）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産鑑定の仕組みと、鑑定方法を丁寧に分かりやすく教えて頂いた。</li> <li>・北海道の土地の坪単価が、昭和 58 年と同じになっている。また、札幌市の一戸建ての新築戸数は昭和 60 年の半分の 4,000 棟である。</li> <li>・不動産鑑定は、一般的要因・地域的要因・個別的要因等により鑑定金額が決まる。</li> </ul> <p>以上、色々と為になるお話しでした。</p> <p>3) 北海道瓦屋根保存普及協会の取り組み（北海道瓦屋根保存普及協会 理事長 林 文浩氏）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月に設立し、まだ1ヶ月ですが少しずつ活動を始めている。</li> <li>・北海道では瓦屋根が出来ないという非常識な常識があるので、それを変えていきたいとの旨のお話しがあった。</li> </ul> <p>4) 古民家フォト甲子園について（住育コンシェルジュ 石川 圭子氏）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古民家フォト甲子園に関して、静修高校の取り組みをスライドで説明。</li> <li>・参加者の皆様に、高校生に対しての告知のお願いがされた。</li> </ul> <p>5) 北海道伝統資財再生機構からのお知らせ（北海道伝統資財再生機構 代表理事 齋藤 康志）</p> <p>伝統資財の問い合わせはないが、古民家再生の問い合わせがあったとの報告がされた。</p> <p>6) 意見交換 初めに参加された伊藤さんより自己紹介が行われた。</p> <p>7) 今後のお知らせ</p> <p>4月20日（土）9:00 古民家鑑定士講習・試験（宮の沢若者活動センター 活動室A）</p> <p>4月20日（土）15:00 住育検定 試験（宮の沢若者活動センター 活動室A）</p> <p>5月18日（土）13:00 古民家鑑定士講習・試験（宮の沢若者活動センター 活動室A）</p> <p>5月18日（土）18:30 第33回例会（宮の沢若者活動センター 活動室A）</p> <p>5月19日（日）13:00 古民家鑑定現地講習（北海道開拓の村 旧樋口邸）</p> <p>8) 閉会</p>
決定事項	次回例会 5月18日（土）18:30 宮の沢若者活動センター 活動室Aにて行う。
次月議事内容	次回議事録記録者 江崎 幹夫 ・各自報告事項 など